

生中通伸

平成28年6月24日(金)

生駒市立生駒中学校 文責 校長 藤原康成

「口蓋垂」自分の知らないところで人は支えられ、生かされています。

一学期も残すところ、あと4週間になりました。期末テストに向けての準備は進んでいるでしょうか。計画を立て自分に負けないで、あきらめないで頑張る経験がこれからの人生に大きな自信になって返ってきます。点数に左右されるだけでなく、学習に取り組む過程を大切にしてください。



.....
【生徒総会6.14】 生徒会執行部、議長を務めてくれた3年生、各専門委員長のみなさんや積極的に発言してくれた10名を超える生徒の皆さんのおかげで、生徒主体の生徒総会が実現しました。

「生徒会活動方針」では、『地域や社会に貢献できる学校にしよう』『身だしなみを正そう』が、提案されました。生徒会活動が地域に発信できる取り組みや心身共に成長しようという強い意志が感じられるものでした。今回から集会で生徒のみなさんが集う時には、「校歌をみんなで心一つに歌い上げる」全員合唱を行いました。今回は慣れないこともあってか声が出し切れず、45点という評価をつけました。次回に向けた期待を込めたものでした。

総会の終わりには、一人ひとりが学校の大切な一員であることを自覚して欲しいとの思いから、落ち着いて集会に望めなかった人たちに厳しいことばも投げかけましたが、真剣に取り組んでいるなかまと一緒に本気で頑張りたいという願いを込めて伝えていきました。集会に臨む姿勢をみんなで考え、貴重な時間を有意義なものにしてください。

.....
【合唱コンクール6.21】 *発表の様子はホームページ掲載中

「イヤー。本当に驚きました。」「感動しました。」「最高でした。」



当日の朝、各学年、各クラスの歌声が、校舎に美しくCDから流れる自然な音楽のように響き渡っていました。本番ではどんな歌声が聴けるのが楽しみで楽しみで仕方ありません。自分の心を抑えながら、たけまるホールに向かい、はじめにあいさつをさせていただきましたが、何を話したのかよく覚えていません。校歌の全体合唱が始まりました。「生駒のやまのあおきなだれ.....」足元から体全身に響き渡る美しく迫力のある音量は、私の想像をはるかに超えるものでした。生徒総会のイメージが残っていたのでしょうか。この校歌でまずは「感動」そして、1年生～2年生と感動はおさまりません。ついに3年生の出番です。自信に満ち溢れて、堂々とした姿や表情を見ていると『感動』⇒『感謝』になり、そして、会場の雰囲気も空気も変わったような気がしました。すべての人たちが、各クラスの歌声に吸い込まれていく、こんな経験は本当に初めてでした。3年間、先生方と積み重ねてきた。「結集力」ではないでしょうか。この絆をこれからの学校生活にも活かしていきましょう。 **全クラス・ゴールド金賞 最優秀賞。校歌100点。**

『 あいさつの ごちそうを 笑顔いっぱい

お腹いっぱい 心いっぱい いただきます 』

これは、生徒昇降口の掲示板的言葉です。

私は兵庫県西脇市に実家があります。今も83歳になる母親が一人で暮らしています。いつも近所のみなさんに声をかけていただいて、助けていただいています。年数回帰省をしたとき、朝早く部活動に行く中学生や高校生が見知らぬ私に顔を見ながら、笑顔で「おはようございます」と、家の前を通る10人が10人、見事に気持ちの良いあいさつをしてくれます。清々しい気持ちになります。そのとき



にフト思いついたのがこの言葉なんです。まさに「あいさつのごちそうを笑顔いっぱいお腹いっぱい心いっぱいいただきます」の気分になりました。生駒中学校区の多くの方々にも清々しい朝をプレゼントできないでしょうか。少しずつでいいです。はじめは照れくさくて恥ずかしいから、慣れてくるとごくあたりまえになり、しないと変な気分になるかも知れません。だんだん自分に自信が付いてくる。自信が付いてくるといろんなことにチャレンジしたり、前向きになる。相手も自分も気持ちが良い。きっと、自分の変化に気づくことでしょう。まずは、家の中から、そして、ご近所からはじめてみませんか。

*お家のみなさんもご協力よろしくお願ひいたします。

校内では、みんなよくあいさつをしてくれます。私よりも先にしてくれる子、立ち止まって丁寧なあいさつをしてくれる子、遠いところでも見かけたら会釈してくれる子、すごいです。あいさつが習慣になり、自分のものになってるんでしょうね。各家庭で保育園や幼稚園、小学校で大事にさせていただいたおかげです。大人になって社会に出たとき、自然体で気持ちのこもったあいさつやおもてなしは心がないと伝わりません。あいさつがいつでもどこでもだれにでもできることは、一つのかげがえのない財産かも知れません。形でない、させられるものでもない。ホンモノにしていきたいです。

*家庭から、ご近所から、はじめて行きましょう。『あいさつで地域にかがやきを・・・』

【心を磨くトイレ掃除】その1

☆ 感動の心を育む

感動こそ人生。できれば人を感動させられるような生き方をしたい。

そのために自分自身が感動しやすい人間になることが第一

人は人に感動する。身を低くして一所懸命取り組む姿に感動する。

特に、人が喜んではできないトイレ掃除は最高の実践道場である。

一度、お家のトイレ掃除（お風呂掃除）をやってみよう。

一度できたら、週に一回続けてみよう。

凡事徹底